

第122回生涯教育研修セミナー

Web配信

日時 2020年10月10日(土) 午後3:00~6:20

方法 Web配信

※参加費無料・事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて10月4日(日)までにGoogleフォームから参加登録をお願いいたします。追って事務局よりZOOMの登録用URLをお送りします。(ZOOMの登録用URLの送付まで数日いただく場合がございます。)

<https://forms.gle/VJtTSk3nKQ15Ko7q7>



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 3単位 カリキュラムコード 0,8,79

開会の辞 生涯教育研修セミナー委員会 委員長・慶應医師会副会長 村田 満
挨拶 医学部長・慶應医学会長 天谷 雅行
挨拶 三四会会長 武田 純三

テーマ

『呼吸器疾患最近の話題：肺がん、喘息そして感染症COVID-19まで』

呼吸器内科は肺がん、喘息、COPD、感染症、急性肺損傷、睡眠時無呼吸症候群など疾患の守備範囲が広くさらに急性期から慢性期あるいは緩和医療まで網羅しながら病態が多岐に渡る患者さんを広い視点をもって診療することが求められる診療科である。一方近年の病因・病態研究によりこの数年で治療法が格段の進歩を遂げている。例えば肺がんにおける免疫チェックポイント阻害薬はその効果もさることながら、本庄佑先生のノーベル賞受賞とともに大きなインパクトを与えた。慢性疾患の代表である喘息においては、コントロール不良のためステロイド治療に頼らざるを得なかった重症喘息患者に対する生物学的製剤の上市は大きなパラダイムシフトを起こした。感染症に関しては高齢化社会において問題となる誤嚥性肺炎から未曾有の感染症COVID-19まで我々はこの分野とは切っても切れない関係にあることを日々実感している。今回の講演では肺癌の臨床、研究に従事しながら新たなシーズの発見、橋渡し部門で活躍する寺井秀樹先生、喘息の分野で活躍し呼吸器学会、アレルギー学会を牽引している長瀬洋之先生、呼吸器感染症を専門に慶應COVID-19診療チーム副リーダーとして活躍中の石井誠先生、3人の先生方からそれぞれの呼吸器疾患の最新の話題について講演をいただく。

モデレーター 慶應義塾大学医学部 内科学(呼吸器) 教授 福永 興壹

1. 『肺癌薬物療法の進歩』 慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター 特任助教 寺井 秀樹

2. 『気管支喘息診療 Up to Date — COVID-19蔓延下での診療のありかたを含めて—』 帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 教授 長瀬 洋之

3. 『COVID-19共存時代の呼吸器感染症 Up to Date』 慶應義塾大学医学部 内科学(呼吸器) 准教授 石井 誠

挨拶 大正製薬ホールディングス株式会社 代表取締役社長 上原 明
挨拶 慶應義塾常任理事 竹内 勤

次回予定 2021年2月27日(土)開催

共催 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会
慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会
慶應医学会
大正製薬株式会社

連絡先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp